

CAVOK 2016年航海日誌 NO2

(6月28日(水) Palermo ~ 7月5日(火) Catania)

松崎義邦氏メール(6月28日)

皆様に

その後順調に航海を続け現在シチリア島カタニーニに滞在中です。

日程の関係でイタリア本土より、エルバ島、コルシカ島はそれぞれ一泊にしてサルデーニャ島のカンニジョウーネに1週間ほど滞在しました。2011年からの友人の Antonio が歓迎してくれて毎日一緒に遊びました。

アグリツーリズムのレストランでサルデーニャ料理を食べたり、イタリアで有名なカピケラのワイナリーでサルデーニャ産ヴェルメンティーノ品種の白ワインを5リットル瓶で何瓶も買ったり、彼の家でご馳走になられたり、CAVOK5 で日本食パーティーをしたりして楽しみました。

又コルシカ島とサルデーニャ島間のマダレーナ海峡の海の美しい島々で錨泊も楽しみました。Antonio は料理が上手く、彼の作ってくれたトマトスープ仕込みのムール貝は絶品の味でした。

サントロペから一緒だった日比谷夫妻、磯夫妻が5月29日に下船して寂しくなりましたが、Antonio がカリアリ迄一緒することになり6月2日にカンニジョウーネを出港して3人でのクルージングを楽しみました。

途中彼の案内でエメラルド海岸の素敵な入り江で錨泊したり、オロセイ湾ではトリパーボートに乗り表現のしようがないほど美しい海の色の海岸巡りも楽しみました。その間グルメなアントニオがイタリア料理を一品作り、悦子の料理とカピケラワインと相まってグルメの航海でもありました。

11日にカリアリに到着してアントニオはカンニジョウーネに戻り、今度はカリアリの友人 Paolo 夫妻に大変お世話になりました。15日にはグランドホッケー部出身の正田さんが乗艇して、正田さんと3人で彼の家に泊めてもらい、これまたグルメの Paolo 夫妻の美味しい料理を堪能させていただきました。イタリア料理は素材から味を出すので脂っこくなく、我々の口に合って毎日美味しく頂きました。近くの山でハイキング中、不注意で私がスリッパしてオデコに5針縫う羽目になりましたが直ぐ良くなりました。

強風が続いていたので風待ちをしてから、19日に160NM先のシチリア島の西にあるエガディ諸島のマレットィモ島に向けて、Paolo 夫妻も一緒に5人でカリアリを出港しました。出港当初未だ風が強く、追手ではありましたが瞬間49ノットの風を記録しました。強い風だったのでジブだけにしましたが7ノット以上の速度で快調にセーリングしました。少

し風が落ち着いたところで、トローリングをしていると2回ほどヒットして2回目は釣り上げることが出来ました。約15kgの小ぶりのマグロでしたが三日間マグロを楽しめました。又立派な卵巣があったので Paolo がカラスミを作りこれもお酒の友になりました。この辺りはマグロの追い込み漁で栄えたところでしたので釣果を期待していたのでうれしい限りでした。出港してから30時間後にマレットィモ島に到着して、エガディ諸島の3島を楽しみました。その後トラパーニ港に入港して、26日に Paolo 夫妻が下船しました。その後パレルモ、チェファルに寄ってエオリア諸島のヴォルカーノ島で錨泊しました。ここは先史時代から火山活動が盛んで海中温泉や泥温泉に浸かりました。メッシーナ海峡ではメッシーナ名物の高い見張り台と船首から長く突き出た突きん棒のある漁船のカジキマグロを追っている姿を見ることができました。

タオルミーナで錨泊した後、現在カタニーニに滞在中です。そして昨日正田さんが帰国しましたのでこれからしばらく悦子と二人のセーリングを楽しみたいと思っています。

5月24日以降の航海日誌がウイルスにやられて消えてしまったので長々と書いたことをお詫びします。添付の日誌は6月28日以降の日誌になります。

添付写真

1 . Cannigone のマリーナ



2 . 日比谷夫妻、磯夫妻と Antonio



3 . Maddalena 海峡の島にて (Cala Portese)



4 . Maddalena 海峡



5 . シェフ Antonio



6 . エメラルド海岸錨泊地 Port Della Taverna



7 . オロセイ湾 Cala Mariolu



8 . エビのパスタ



9 . Paolo 宅にて



10 . 釣ったマグロ



11 . Marettimo の港



12 . Volcano 島 泥温泉

13 . Swordfishing boat(カジキマグロの突きん棒船) 望遠で撮りましたのでボケました。

14 . Taolmina にて

2016年 CAVOKV 航海日誌(2)

2016年6月28日(水) Palermo~Cefalu(35NM) 快晴 北西10~15ノット

08:40に舳いを解いてマリーナの出口にあるガススタンドで軽油を補給する。

72L給油して102€だった。大きなパレルモの港を出て暫く機走するが、出港から約1時間後から北西の良い風が吹き出し一気にジェネカーを張る。15ノット前後の風を受けて7ノット以上で快調なセーリングをする。先に行っているヨット2艇を抜く。お昼は久しぶりに生ハム、トマト、レタスのサンドイッチをビールで頂く。ビミトップの日よけのお陰で日差しも避け、風が心地よい。

14:30に自然の風光明媚な Cefalu の港に入る。港の入り口には4艇ほど錨泊していた。素晴らしい泊地である。マリーナからはボートで勧誘がてら迎えに来てくれた。

一休みの後、泳いでシャワーを浴びてから一杯楽しむ。

夕食はマーボ豆腐、野菜サラダ、チャーハンを頂く。

残念なことに今まで書いていた日記が PC 上から消えてしまったので今日からの日誌になる。

6月29日(木) Cefalu Valcano(51NM) 快晴 微風

07:40に舳いを解く。若干のうねりが残るが静かな海面を機走する。

途中7ノット弱の風が斜め後ろから吹きだしたのでジェネカーを揚げる。2時間ほどジェネカーでのセーリングを楽しむが風が弱まり、後ろから来た機走のヨットに抜かれて行ったので諦めて機走にする。お昼に生ハム、トマト、チーズのサンドイッチをビールで頂く。単調なヨットの上では食事は楽しみだ。

結構な数のプレジャーボートがエオリア諸島に近づくと見えてくる。

17:30にエオリア諸島の7つあるうちのひとつ Volcano 島の入り江にアンカーを打つ。既に沢山の艇が錨泊している。水深はちょっと沖合に出ると深く、岸边に近づかないと10m以内の深さにならない。一度アンカーを打ったが近く岩場があり不安だったので出て行った艇の後に打ちかえる。錨泊するときはアンカーするのに用心深くなる。

ここは海中温泉のあるところで早速泳いで海中温泉を浴び行く。泳いでいると所どころお湯が沸きだし暖かい。

静かな夕暮れをジンライムで楽しんでから、夕食に味噌田楽とソーセージ入りトマトソーススパゲッティを先日仕入れた赤ワインで頂く。素晴らしい夕暮れに魅了され、また明日も錨泊して、この夕暮れを楽しむことにした。

ほろ酔いでのコックピットでの転寝は極上だった。

6月30日(金) Valcano

ゆっくり温泉に浸かりながら過ごすことにする。

朝ゆっくりと起きてコーヒーとビスケットの朝食を済ませてから港にある町に3人で、ラバーボートで上陸する。バールでお茶しながら WIFI で調べごとをする。明日世界三大強潮流のメッシーナ海峡を通過するので海峡の潮流を調べる。ついでにマリーナのスタッフに確認するとメッシーナ港までは潮流の影響は受けないとのことだ。その先が強いとのことだった。ついでに魚屋で新鮮なイカとオラーダ（タイに似た魚）を買う。

お昼は正田さんが Paolo の作ったマグロのポットルガを使ってポットルガ・スパゲッティを作ってくれる。ポットルガの味が妙にしみ込んで美味しいスパゲッティをご馳走になった。ビールを冷やすのを忘れて、冷えた白ワインにしたがこれまたマッチングした。

食後はコックピットでお昼寝、海風が心地よい昼寝を誘ってくれた。

午後はラバーボートで浜に上陸して泥温泉と海中温泉と浸かる。直に地下から温泉が湧き上がり海水は湯の華だらけだった。



天気も良いせいか快適な錨泊地だ。艇を数えると12艇錨泊していた。ロシア、オランダからのヨットもいた。

何とかパソコンのワープロの復元をしたく、私は再上陸してバールでチャレンジするがうまく行かない。

夕方8時前に艇に戻ると正田さんと悦子が今日買ったイカのグリルとムール貝のリゾットを料理していた。

白ワインでこのご馳走を頂く。美味しい料理に幸せをかみしめる。食後は星空を眺める。

7月1日(金) Valcano Taormina(70NM) 快晴 微風

今日は70NMの行程プラスメッシーナ海峡を通過するので場合によっては手前のメッシーナ港に入る予定で06:15にアンカーを揚げる。静かな天候が続き恵まれている。

メッシーナ海峡は鳴門海峡、カナダのヒイモア海峡と3大潮流の海峡と云われている。

午後1時を過ぎるとノースバンドの迎潮になるので急ぐ。12時に海峡の入り口に着きサウスバンドの追潮を2ノット受ける。お昼に茄子入りトマトソースのパスタを頂く。快晴の中、海の上でのビールが実に美味しい。

2時ごろから迎え潮になったので岸よりコースを引くと反流を受けて追潮をとらえることが出来た。途中メッシーナ名物のカジキマグロの突きん棒船に会う。マストトップの見張り台から見つけて舟先の飛び出た櫓からカジキマグロを突く漁船だ。



17:30にタオルミーナの錨泊地にアンカーしようとする、ラバーボートでブイ筋いの勧誘に来た。値段を聞いたら60€との事だ、ブイだけの値段ではべらぼうなので断って砂地の深さ7mのところにアンカーを打つ。早速泳いで確認をするがしっかり砂に食い込んでいた。

ここも3度目になった。

前菜にムール貝のアヒージョをジントニックに楽しんで、夕食はサラダとオラーダ(タイに似た魚)をオイルと塩をまぶしてデッキのBBQ台でBBQする。とっても美味しい味だった。

7月2日(土) Taormina 快晴



ゆっくり錨泊を楽しむことにする。この何もすることのない時間が好きだ。正田さんはタオルミーナが初めてなので観光することにする。コーヒー、ビスケット、フルーツの朝食後ラバーボートと一緒に上陸してすぐ目の前にあるタオルミーナ駅まで送る。バス停で見送った後、私は海辺のレストランで消えてしまったPCでの日記のファイルを探すが見つからず諦めて艇に戻る。お昼には海水浴に来たモーターボートが沢山アンカーリングして楽しんでいた。お昼は悦子と二人で Paolo の手製のニョッキを雑炊にしてお握りと頂く。ニョッキの新しい食べ方だが美味しかった。

昼寝の後泳いで浜に上がると正田さんの声が聞こえた。タオルミーナの町とギリシャ劇場を観光して戻ってきた。ラバーボートで来てないので泳いで艇に戻りラバーボートで迎えに行く。帰りにエンジンをかけようとするがかからない。そうこうしていると隣に来たラバーボートが引っ張ってあげるとの事、お願いして艇まで引っ張ってもらった。

気温は33もあるので陸にいと体が暑くなる。艇に戻ってから海に浸かり熱い体を冷やす。海の上は風もあり涼しく心地よい

素敵な夕暮れを楽しみながら夕食を楽しむ。今晚の夕食はチキンカツ、パスタのオムレツ、ズッキーニのグリル、ジャガイモのニンニク味のグリルをシチリア産グランクルーの赤ワインで頂く。

7月3日(日) Taormina Catania(24NM) 快晴 北10 15ノット

底が砂地で綺麗な海なので名残惜しく朝食後ひと泳ぎしてからカターニャに向かうことにする。こここのところ毎日の海水浴が気持ち良い。

9時にアンカーを揚げる。充電の必要な機器が数種類あったので変圧器をつないで充電しようとしたらバッテリーノーチャージの赤灯が点灯してしまった。エンジンの回転を上げて消灯しないので何かのプロテクターが働いたかと思い諦める。幸い15ノット程度の北風が吹き追ってなので直ぐセールを揚げて帆走する。ソーラーパネルからも充電してない。エンジンバッテリーだけ切り離して充電しないまま行く。

向かい風に向かっていくヨット達とすれ違う。

エトナ山を見ながら気持ち良いセーリングをした。カターニャの手前でエンジンスタートすると途中から充電がノーマルになる。良くわからない事象だがほっとする。

大きなカターニャの港の隅にある Circolo Nautico NIC の棧橋に13:25に舫う。昨年にも繫留したところでスタッフが親切なところだ。

早速デッキを水洗いしてから小型洗濯機で洗濯をする。

夕方に町に出てエスプレッソマシンとお土産の買い物をする。日曜日でスーパーマーケットが閉まっていたので食材の購入を諦めて、イタリアンレストランで食事をする。乾いた喉を生ビールで潤して前菜の盛り合わせ、ミックスサラダ、カラマリフライ、ムール貝、ノエルパスタを白ワインで食べる。いずれも味が濃く染みているので美味であった。お値段が69€で嬉しくなる。

艇に戻りシャワーを久しぶりにゆっくり浴び夜長を楽しむ。海の上は涼しい。

7月4日(月) Catania 快晴 東10 15ノット

何とかワードで書いた日記の復元を図りたく早朝よりインターネットでマイクロソフトの相談口とコネクションする。遠隔操作で復元を試みってくれるが復元できないうちに日本時間の18時になってしまい明朝再度トライすることになる。大変親切でチャットでお話しながら出来るので助かる。

正田さんには申し訳ないが一人でカターニャの観光に行ってもらおう。

正田さんが食べたかったラムチョップを探しに行くが見つからず諦める。

お昼は皆でソーメンを頂く。食後3人で再度ラムを探しに行くが見つからずポークを買って帰る。町中は非常に暑く、途中レモンシャーベットを食べて一息ついて艇に戻る。海の上に戻ると海風が心地よい。水浴びをしたら更に心地よくなった。

今晚の夕食は正田さんの CAVOK5 での最後の晩餐会だ。野菜サラダ、ポテトサラダとガーリック醤油味のポーク、そしてご飯を量り売りで購入したシラーワインで頂く。ポークのソースがご飯にも合い美味しく頂いた。

彼のギターの音色を聞きながら素晴らしい夜更けを過ごした。

7月5日(火) Catania 快晴

朝マイクロソフトから電話があり再度ワードの復元を試みるが出来なかった。帰国してから復元を試みる事にて今回の復元は諦めた。

午前中に市場に行ってこれからの食材を買う。マグロ、イカ、エビと野菜を仕入れる。

お昼は先ほど市場で買ったマグロの刺身、剥き身をご飯で頂く。最後はノリと胡麻でマグロ茶漬けをするが美味しかった。

食後正田さんを空港行きのバス停まで送っていく。乗艇中良くやってくれて助かった。

艇を掃除してからゆっくりした午後に過ごす。

夕食には今朝仕入れたエビ、イカ、玉ねぎソース味のトマトを頂いた後、たらこの昆布巻きとゴボウの煮つけでご飯を頂く。

明日はタオルミーナで錨泊予定だ。